

# 令和2年度 各務原市下水道事業 予算概要

1. 方針
2. 予算額
3. 排水人口・戸数・排水量・有収水量
4. 収支の内訳
5. 主な事業

# 1. 方針

- ・市民の生活環境の向上に寄与し、公共用水域の水質の保全に資するため、下水道施設を適切に維持管理するとともに、未普及解消や長寿命化、幹線管渠の耐震化を着実に実施する。
- ・公営企業会計への移行を機に、さらなる効率的運営を図る。

◆総合計画に基づく事業実施と目標管理

◆将来を見据えた事業経営

◆未普及解消と長寿命に加え、総合地震  
対策事業の推進

## 2. 予算額

### 収入

	収益的収入	資本的収入	収入合計
令和元年度	—	—	—
令和2年度	2,773,664千円	2,652,495千円	5,426,159千円
増減	—	—	—
対前年度比	—	—	—

### 支出

	収益的支出	資本的支出	支出合計
令和元年度	—	—	—
令和2年度	2,739,709千円	3,390,958千円	6,130,667千円
増減	—	—	—
対前年度比	—	—	—

※収入、支出ともに税込

※令和2年度より公営企業会計へ移行するため、前年度比較予算なし

# 3. 排水人口・戸数・排水量・有収水量

令和2年度予算における排水人口・戸数、年間総排水量、年間有収水量は、次の値とする。

排水人口 108,812人

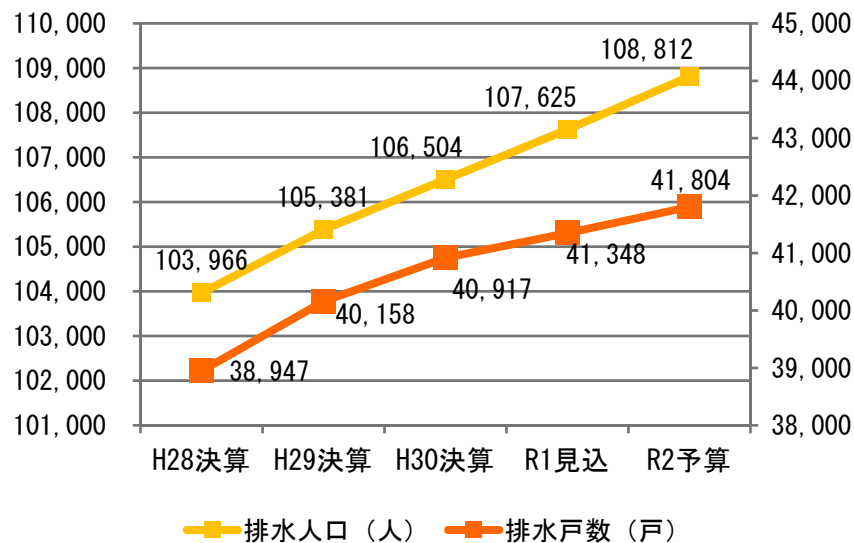
排水戸数 41,804戸

年間総排水量 11,278,915 $m^3$

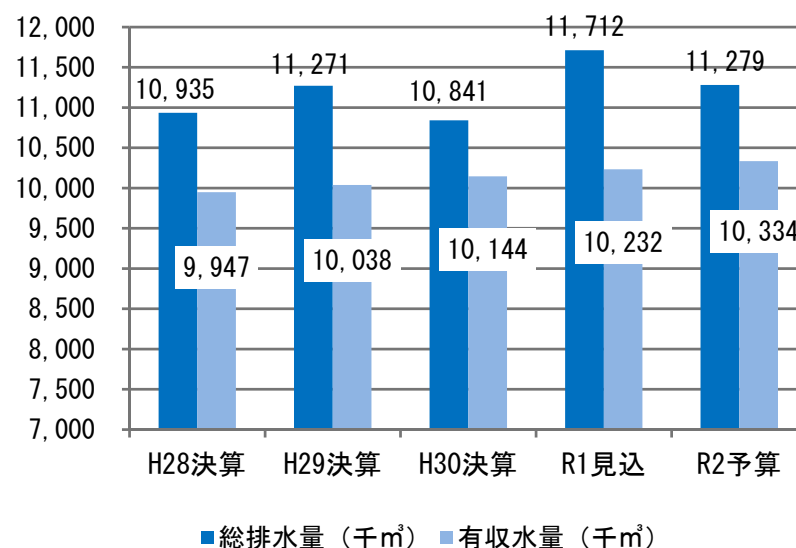
年間有収水量 10,333,982 $m^3$

(有収率 91.7%)

排水人口・排水戸数の推移

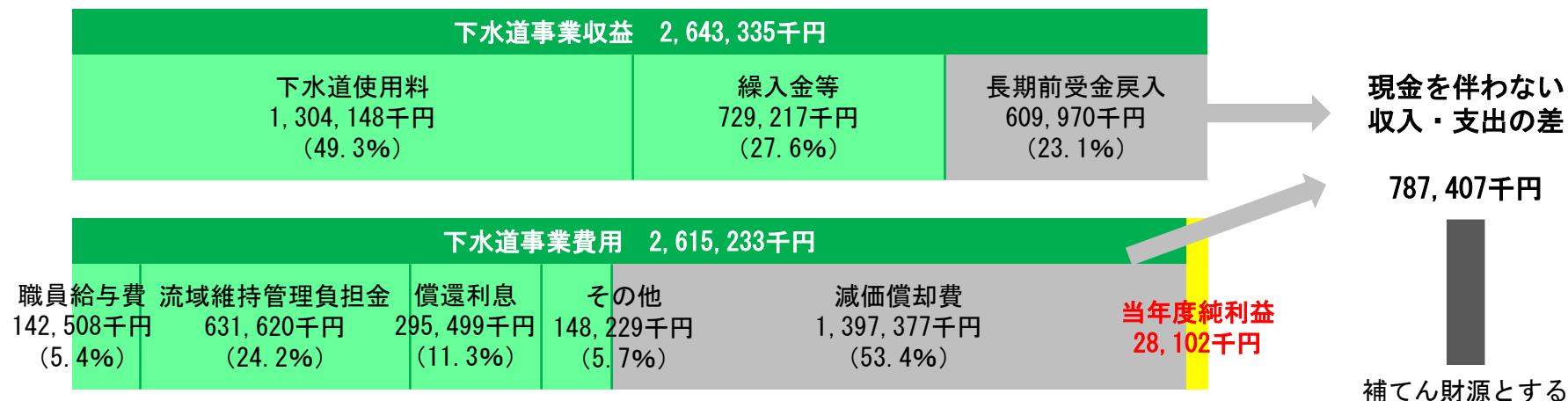


年間総排水量・年間有収水量の推移

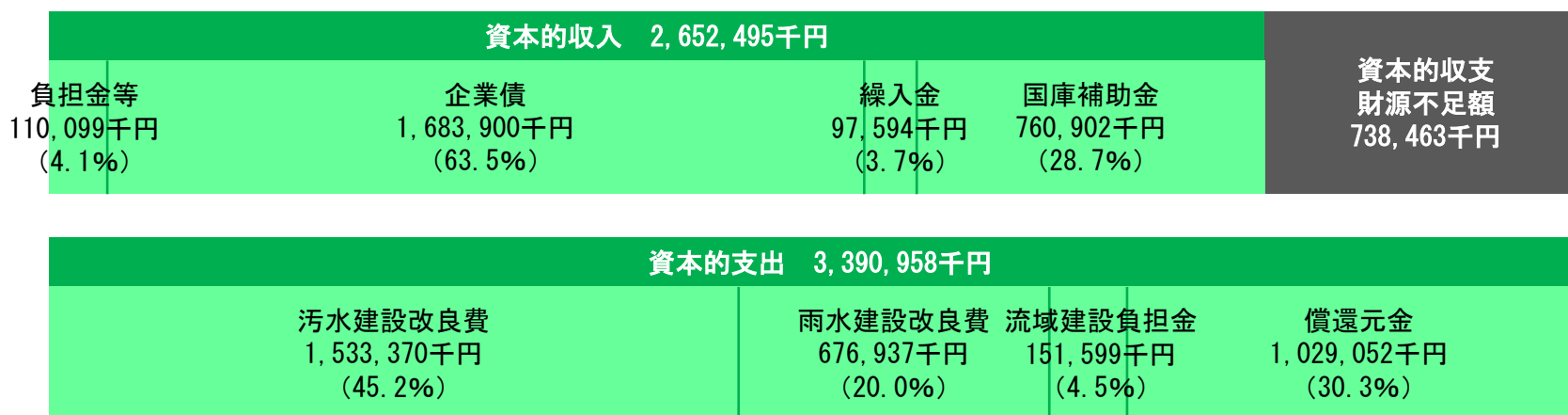


# 4. 収支の内訳

## 収益的収支（3条予算：税抜）



## 資本的収支（4条予算：税込）



## 5. 主な事業

### (1) 流域関連公共下水道事業変更計画策定事業 (21,652千円)

上位計画である木曾川右岸流域下水道事業計画の変更に合わせて、市の事業期間の延伸、予定処理区域の拡大を行うため変更計画を策定する。

### (2) 汚水管渠敷設事業 (956,179千円)

下水道の普及のため、汚水管渠布設工事を行う

上戸・朝日・蘇原第2処理分区  $\Phi 200\text{mm}$   $L = 9,507\text{m}$

### (3) 下水道長寿命化事業 (310,277千円)

老朽化した管渠等の延命化工事を行う。

翠沼・緑苑処理分区  $L = 3,974\text{m}$

### (4) 管渠耐震化事業 (149,020千円)

総合地震対策計画に基づき、重要な幹線管渠の耐震補強を実施する。

岩地幹線耐震化工事  $L = 344\text{m}$

## 5. 主な事業

### (5) マンホールトイレ整備事業 (20,110千円)

避難所管渠充実のため、総合地震対策計画に基づき、一次避難所となる市内小中学校18校のうち下水道が整備されている14校に、マンホールトイレ設置のための下水道工事を行う。

(全体計画：5年)

那加第一小・鵜沼第二小 各13基

### (6) 雨水管渠整備事業 (221,850千円)

雨水の浸水被害を軽減するため、雨水渠の整備工事を行う。

伊吹第2雨水幹線・楠第1排水路・那加東亜地区排水路

### (7) 雨水貯留施設整備事業 (440,405千円)

雨水の浸水被害を軽減するため、学校の校庭を利用した一時的な雨水貯留施設の整備を行う。

那加第一小・蘇原中・鵜沼中